

2022年3月16日

報道関係者 各位

株式会社 Liberaware

産業用小型ドローンを開発する Liberaware、 新たに 4 億円の資金調達を実施

2022 年夏に韓国インフラ・プラントメンテナンス市場へ参入予定

屋内空間専用の産業用小型ドローン IBIS（アイビス）を開発する株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役 CEO：関 弘圭）は、既存投資家でリードインベスターである Bonds Investment Group 株式会社、千葉道場ドローン部 2 号投資事業有限責任組合を引受先として新たに約 4 億円の第三者割当増資を行い、累計調達額は 13.6 億円に到達したことをお知らせいたします。



【本資金調達の目的】

当社の開発した屋内空間に特化した産業用小型ドローン「IBIS（アイビス）」は、製鉄業や電力業、建設業等における設備の点検、構造物のデータ化において活用が進んでおります。

また、2021 年 7 月には JR 東日本グループと合弁会社「CalTa 株式会社」を設立し、鉄道・インフラ業界のデジタル・トランスフォーメーションを促進するための事業展開を図っております。

2021 年夏から韓国大手製鉄会社、電力会社、建設会社向けにプレマーケティングを実施してまいりました。今回の資金調達により、韓国へ事業進出するための体制を構築し、2022 年夏には正式にサービスローンチする予定です。韓国においても日本と同様に、インフラ・プラントメンテナンスにおける課題を多く抱えており、当社の「IBIS」を用いて解決していきます。

この他、製造業や建設業のデジタルツインに貢献するべく、映像の三次元化技術の研究及びアプリケーション開発に注力して参ります。

【本資金調達の出資者】

(順不同)

<既存投資家>

BIG2 号投資事業有限責任組合 (Bonds Investment Group 株式会社)

千葉道場ドローン部 2 号投資事業有限責任組合 (DRONE FUND 株式会社)

【産業用小型ドローン IBIS (設備点検型) の概要】

◇サイズ : 191×179×54mm (プロペラガード込み)

◇重量 : 185g (バッテリー込み)

◇飛行時間 : 最大 8 分間

◇装備類 : LED 照明、防塵用モーター、独自設計のプロペラ 他

◇活用シーン :

煙突の中や配管内、ボイラー内部、屋根裏といった人が進入することのできない、もしくは進入すると危険な場所の点検や計測に活用されています。特に足場の設置が必要な現場などでは、安全面・時間面・費用面において大きなメリットを生み出します。今後は、橋梁やエレベーターの内部、大型船舶のバラスタタンクやカーゴホルドの内部等の新たなフィールドでの活用も開拓していきます。



【株式会社 Liberaware の概要】

Liberaware という社名は、ラテン語で「自由な」を意味する“libera”と、「気がつく」を意味する“aware”、そして hardware や software の“ware”を組み合わせたものです。「正しく作る、自由に動かす、社会を変える」をモットーにして、自由な発想でモノづくりに取り組むエンジニア集団です。

会社名 : 株式会社 Liberaware (リベラウェア)

設立 : 2016 年 8 月 22 日

代表 : 関 弘圭 (ミン・ホンキュ)

資本金 : 360,760,000 円

本社 : 千葉県千葉市中央区 3-3-1

社員数 : 36 名

業務内容 : ◇産業用ロボット・ドローンの研究・開発・製造

◇IoT 技術・人工知能を活用したシステム開発

◇映像加工・編集サービス (距離計測、異常検知等)

(2022 年 1 月末日時点)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 Liberaware

〒264-0025 千葉市中央区 3-3-1

TEL 043-497-5740

E-mail : pr@liberaware.com

ホームページ : <http://liberaware.co.jp/>